

序 文

福生市に遺存する文化財の現状を把握し、今後の文化財保護の資料とすることを目的として、昭和四十九年に発足しました本市の文化財総合調査事業は、関係者の御努力により本年までに、文書、植物、民俗、動物、考古、地質、社寺建築、民家の各調査項目につきまして、主として所在の確認と記録を目的とした緊急調査を実施してまいりました。その中のいくつかは、すでに調査を了えて、次の個別、体系、集中等の調査に着手しつつあります。

民俗調査におきましては、急激な都市化と生活様式等の変化によって消え去りつつある祖先の文化を記録保存するため、昭和四十九年より調査を続けてまいりました。すでに、人生儀礼、年中行事の二項目に關しまして、調査の結果を報告書にまとめています。

今回は、生業・諸職（くらしと道具）に關する調査結果がまとまり、本報告書として刊行するはこびとなりました。

本報告書が、文化財の保護と活用に役立てられ、地域の文化向上に貢献するものとなり、学术研究のために活用されれば幸いと存じます。

おわりに、この調査に御協力を賜りました、多くの市民の方々に厚く御礼申し上げますとともに、御多忙にもかかわらず、夏の炎天下、冬の寒風の中を調査にあたられた調査員の方々の御苦勞に対し、厚く御礼申し上げます。

昭和五十五年三月三十一日

福生市教育委員会

教育長 町田 倍 二